

家畜傳染病豫防法案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長	子爵片桐	貞典君
副委員長	三宅	秀君
	子爵米津	政賢君
	男爵平野	長祥君
	男爵眞田	幸世君
	男爵永山	武敏君
	男爵岩倉	道俱君
	川上	親晴君
	三田	義正君

大正十一年二月十五日(水曜日)午後一時二十六分開會
○副委員長(三宅秀君) 今日ハ委員長病氣ニ付マシテ不肖
私ガ委員長ノ代理ヲ致シマス、先ツ例ニ依リマシテ本案提
出ノ理由ヲ精シク當局カラ説明ヲ求メヤウト思ヒマスガ、
御異議ゴザイマセヌケレバ……

○異議ナシト呼フ者アリ

○副委員長(三宅秀君) ソレデハドウゾ……

○政府委員(田中隆三君) 此度ノ家畜傳染病豫防法案ノ根
本ノ理由ニ付マシテハ既ニ本會議ニ於テ農商務大臣ヨリ申
上ゲテアルノデアリマスカラ、其點ハ略シマシテ尙ホ多少
細カキコトニ亘リマシテ改正ヲ致シマシテ數箇ノ事項ニ付
マシテ、一通リ説明ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、尙ホ此際特ニ
御願申上ゲテ置キマスルデゴザイマス、此法案ハ多少
専門的ニ亘ツコトモゴザイマス、特ニ專門ノコトニ付
マシテハ農商務省技師山脇技師ヲ帶同シテ參リマシテ
デ、政府委員ハゴザイマセヌガ同人ヲシテ説明セシムル
コトニ付テ御許ヲ願ヒマス、此法案ハ現在ノ獸疫豫防法ト
云フヲ改正イタシマシテ法律デゴザイマス、名前ノコト
デゴザイマスカラ特ニ改メナクテモ宜カラウデヤナイカ
ト云フヤウナ議論モゴザイマシタケレドモ、現在傳染病豫
防法ト云フ法律モアリマス、ソレハ固ヨリ人間ニ關スル
傳染病ノ豫防法デアリマス、目的モ趣旨モ同ジデ
唯此度ノ法案ハ家畜ノ傳染病豫防デアリマス、今アリ
マス法律ノ上ニ於テ家畜ト云フ二字ヲ加ヘテ、家畜傳染病
豫防法トスル致シマシタ方ガ體裁ヲ得タモノデアラウト云
フ議ニナリマシテ、名前ヲ改メタ譯デゴザイマスガ、實質ニ
於テハ今申上ゲマス通り獸疫豫防法ノ改正案ニ過ギヌノデ
アリマス、ソレカラ此法案ノ改正ノ主ナル理由トシテ本會
議ニ於テ大臣ヨリモ既ニ御話ガアツタコトデアリマスガ、家

畜ノ種類ヲ二種加ヘタコトト、傳染病ノ種類ヲ新クニ五種
加ヘテ居リマス、現在ノ法律ノ中ノ病名ヲ變ヘタ、名前ヲ變
ヘタノモゴザイマス、法律案デケル見マスルト色、五種
以上ニモ何カ變更ガアツタヤウニ見ヘマス、ソレハ
單ニ學術的ニ病名ヲ他ノ文字ニ表ハシマシタニ過ギヌノデ
アリマシテ新クニ加ハリマシタモノハ五種デアツタト承知
イタシテ居リマス、其ノ一ツノ病名トソレカラ種類ヲ加ヘマ
シタノガ法案ノ第一條デゴザイマス、從來牛、馬、羊、豚、犬
デスガ此外ニ鶏ト鶩ト此二ツノモノヲ附加ヘマシタノデゴ
ザイマス、ソレカラ病氣ノ方デ加ハリマシタモノハ牛ノ傳
染性流産ト、ソレカラ細羊、山羊ノ疥癬、ソレカラ加奈太馬
痘、家畜虎列刺、ソレカラ假性皮疽此五ツハ新クニ加ツた病
名ニナルサウデゴザイマス、此病名ナリ或ハ此家畜ガ新ク
ニ加ハリマシタモノノ外ニ或ハ猫ヲ加ヘテハドウカ、兎ヲ
ヲ入レテハドウカト云フヤウナ、衆議院デモ大分御答覆等
ガゴザイマシタノゴザイマス、或ハ病氣等ニモ無論此以外
ニモ有リ得ル譯デアリマス、モット擴張シテハドウカト
云フ、說モ段々アリマス、ケレドモ、要スルニ稍、重要ナル
家畜ト認メラレ、又病氣ノ傳染等ノ狀況ニ於テモ特ニ取締
ヲ要スルト認メラレタモノニ限リマシタ、只今申上ゲ
マシタ範圍ニ止メテ居ル譯デアリマス、ソレカラ其次ニハ
第二條ノ改正デゴザイマス、第二條ノ提出義務者ノ範
圍ハ今日デハ多少狹隘ヲ感ズルコト云フ意味ヲ以テマシテ、
現行法ニ於キマシテ管理人ト云フ法律上ノ特別ノ權限アル
人ニ限ラレテ居ルヤウニナッテ居リマス、之ヲ保管
者ト改メマシテ所謂實際ニ於テ保管シテ居ル人、所謂廣イ
意味ニ改メマシタコトヤ、尙ホ又其家畜類ノ搭載シテアリ
マスル船車等ノ船長、係員等ヲ附加ヘマシテ詰リ實際ニ上
出ノ輕便ナルコトヲ期シテ万ノ場合ニ於テ豫防等ノコト
ニ付テ迅速ニ手續ヲナスノ途ヲ開イタノデアリマス、ソレ
カラ矢張第二條デゴザイマスガ、現行法ニハ所轄警察署又
ハ市町村長ト云フ風ニサウ云フ者ニ提出デラコトニナッテ居
リマス、今度ハ之モ矢張モト提出デラ人ノ便宜ノ爲ニ
警察官吏又ハ家畜防疫委員、警察官吏ト斯ウ致シマスレバ、
大抵ノ部落ノ何軒カノ村落ノアリマスル處ニモ大抵普ク
分派サレテ居ルコト云フコトニナリマス、又實際病氣等ノ
ハヤリマスル場合ニ於テハ特ニ防疫委員ト云フモノヲ任命
イタシマシテ平素以上ニ人數モ殖エル譯デアリマス、カラ旁
々現行法ニアル警察署トカ或ハ市町村長ト云フコトニナリ

マスト餘程提出先キハ狹クナリマス、其狹イノヲモット廣
マシテ只今申上ゲタヤウニ大抵モウ直グ便宜ノ場所ニ提出
ヲシ得ル提出ヲ受取リ得ル人ガ居ルヤウニ改メマシタ譯デ
ゴザイマス、只今申上ゲマシタ改正ノ結果トシテ第三條以
下ニ現行法ニ警察官及獸醫又ハ檢疫醫員ト云フ風ノ文字ヲ
以テ示シテアルモノハ、皆簡單ニ警察官吏又ハ防疫委員ト
云フ言葉ニ改メマシタノデゴザイマス、之ハ唯今申上ゲマ
シタ改正ノ結果トシテ廣キ範圍ヲ含ムヤウナ意味ニ改メタ
ニ過ギヌノデアリマス、實質ニ於テ變リハゴザイマセヌ、其
ノ次ニハ第四條ノ改正デゴザイマスガ、四條ハ現行法ニ於
キマシテハ狂犬病ニ罹リタル所謂其狂犬ヲ撲殺スルノ規定
ガゴザイマス、此度ハ之ヲ押廣ゲマシテ獨リ狂犬病ニ罹
タノミナラズ、狂犬病ニ罹ッタ外ノ畜類モ殺スト云フコトニ
ナル之ガ無論立法ノ趣旨ハサウ云フコトデアツタラウト思
ハレマス、ケレドモ法文ガ狹キ意味ヲ以テ現ハレテ、犬以外
ノモノハ狂犬病ニ罹ッタ場合ニハ殺サヌノカト云フト、ドウ
モソレハ法文上ドウモ已ムヲ得ヌト云フ答ヲシナケレバナ
ラスヤウナ風ニ見ヘマス、カラシテ、ソレヲ廣ゲマシタ譯デ
アリマス、ソレカラ之ハ些細ナ文字ノ改正ニ過ギマセヌガ、
法文ノ處々ニ、第四條以下ニ撲殺ト云フ言葉ガアリマス、ケ
レドモ、何ダカ如何ニモ穩カナラヌ言葉ト云フノデ單
ニ殺スト云フコトニ改メマシタ、ソレカラ第五條ノ改正
ニナリマス、ノデゴザイマスガ、之ハ詰リ地方長官ニ於テ家
畜傳染病豫防法上殺スコトヲ命ジ得ル場合ヲ現行法ヨリモ
擴張サレタ譯ニナルノデアリマス、ソレカラ第七條ニ傳染
病豫防上ノ免疫血清トカ、或ハ豫防液注射ト云フモノノ外
ニ藥浴ヲ行ハシメテ、矢張此傳染病豫防法ノ目的ヲ達セ
シムルコト云フ意味ニ致シマシテ、詰リ豫防方法ノ範圍ヲ新
クニ一ツ加ヘマシタ譯デゴザイマス、其次ニ第八條ノ改正
ニナリマス、家畜ノ屍體ヲ現行法ニ於キマシテハ燒却スル
カ、埋却スルカ致サナケレバナラヌコトニ限ッテゴザイマス
ケレドモ、傳染病ノ種類ニ依リ又此度ノ法案等ニ於テモ、單
ニ明カニ怖ルベキ傳染病ニ罹ッテ仕舞タト云フコトノミナ
ラズ豫防注射等ノ爲ニ殺スノ已ムヲ得ザルニ至ツタモノノ
モゴザイマス、ノデ實際ノ狀況ニ應ジテ病氣ノ性質ナリ、其
他ノ關係ニ於テ其屍體ヲ尙ホ利用シ得ル場合ニハ、利用
シ得ルノ途ヲ開イタ譯デアリマス、決シテソレヲ燒イタリ
埋メタリシテ仕舞ハヌデモ、其屍體ノ皮ナリ毛ナリヲ或消毒
等ノ方法ニ依ッテ危險ナシトシテ他ニ利用スル途ガアレバ、

之ヲ利用セシムルト云フ方法ヲ開キマシク譯デアリマス、ソ
レカラ十三條ノ改正デアリマスガ、是ハ牛、馬、綿羊、山羊、
豚此五種ノモノニ付マシテハ、傳染病ノ爲ニ斃レタ場合ノ
ミナラズ、一般疾病ノ爲ニ斃レタ場合ト雖モ失張屈出ラセ
シムル、重要ナル畜産類デモゴザイマス、完全ニ万一ノ
場合ヲ慮ルノ意味ヲ以テ、所有者ノ爲ニ多少手數ニナルコ
トデハゴザイマセウケレドモ、總テ斃レテ死シタコト云フコ
トニ付テハ屈出ヲ爲サシメテ、万々一ノ危險ヲ防グコトニ
致シタコト云フコトニ致シタコトデアリマス、ソレカラ十五
條ノ改正ハ、警察官又ハ防疫委員ガ畜類ヲ置イテアリマス
處、畜舎ナリ或ハ船車ニ積ンデアル所、兎モ角現在所在ノ場
所ニ就テ、臨檢スルノ權能ヲ與ヘマシク譯デアリマス、是
ハ現行法ニハ全ク此規定ガ缺ケテ居ルサウデゴザイマス、
ソレヲ設ケマシク譯デアリマス十七條ノ方ニハ畜犬ノ取締
ニ關スル規定ヲ設ケマシクデアリマス、是モ現行法ニハ
全クナインデアリマス、ソレカラ第二十條ノ方ニ移リマス
デゴザイマスガ、家畜並ニ其屍體及ビ肉デアリマス、骨
皮毛ノ類ノヤウナモノハ總テ檢疫ヲ受クルニ非ザレバ輸入
又ハ移入スルコトヲ得ザルコトニ致シマシク、規定ガ改正
ノ一箇條ニナツテ居リマス、現行法ニハ獸疫侵入ノ危險アリ
ト認ムルトキハト云フヤウナ條件附ニナツテ居リマシタノ
ヲ、今度ハ矢張嚴重ニ致シマシテ、唯今申上ゲマシクヤウナ
コトニ改正ヲ致シマシク譯デアリマス、ソレカラ其次ニハ
二十一條ノ方ニ申上ゲタコトト稍、類似ノコトデゴザイ
マスガ、檢疫官ハ船舶ニ臨檢イタシマシテ航海日誌其他ノ
書類ヲ檢閱スルコトヲ得ルノ途ヲ開イタノデアリマス、詰
リ自然書類等カラ、隱蔽スルノデハナカラウケレドモ、何カ
航海中ニ斃レタリ何カシタコトガアツテ、其實カシラシテ船
内等ニ病毒ノ伏在シテ居ルコトガナイカト云フコトヲ知リ
得ル途ヲ開ク爲ニハ、斯ウ云フ方法ヲ開イテ置ク必要ガア
ルト云フ譯デアリマス、ソレカラ其次ニ
第二十四條ノ改正ニ付マシタコトデゴザイマスガ、是ハ此
殺シマシタ畜類ニ付マシテノ補償金ノ方法デゴザイマス
ガ、是ハ一昨年ノ議會ニ於キマシテモ現在ノ法律ヲ改メマ
シテ、補償金額等ノ最高額ヲ屍體ニ相應スルヤウニ改メマ
シタノデゴザイマスガ、併ナガラ此價額ニ付マシテハ其時
ノ經濟狀態等ニ依ツテ變動スルコト云フヤウナコトモ起
リ得ル譯デアリマス、其度毎ニ法律ヲ改正スルコト云フコト
ハ、手數ノ上ニ於テモ兎角法律ヲ改正スルコト云フコトハ、
手廻レニナルコト云フコトモゴザイマス、此處ハ手當金
ノ最高金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ改メ得ルコト云フコトニ致シタ
イ、斯ウ云フ譯デアリ今ノ二十四條ノ改正ヲ致シマシタノデ
アリマス、ソレカラ其次ニ二十六條乃至二十八條ト罰則ニ

關スルコトニ付テ、多少現在ヨリモ重ク致シマシタコト云フ
ヤウナコトガゴザイマス、ソレカラ二十九條ニ至リマシテ
ハ、所謂傳染病豫防上、航海中ノ船舶ニ於テ船長ノ爲スベキ
處置ニ付テノ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ其次ニ
ハ第三十條ノ規定ニ付マシマスルデゴザイマスガ、是ハ新
タニ附加ヘマスノデゴザイマス、所謂宮内省ナリ或ハ國ノ
管理ニ屬シテ居リマス家畜ニ付マシテモ、特ニ宮内省ナ
リ或ハ國ナリニ於テ檢疫方法ノ整、テ居リマス所ハ宜シウ
ゴザイマス、サウ云フ方法ヲ執テ居ラレナイ所ニ付キマシ
テハ、矢張此處ノ家畜傳染病豫防法ヲ適用スル、所謂檢疫ニ
付テノ手續ハ國ノ畜類ニ付テモ適用シ得ル途ヲ開キマシ
タノデアリマス、大體ノ改正ハ唯今申上ゲマシタヤウナコ
トデゴザイマシテ、要スル此傳染病豫防ノ目的ヲ完全ニシ
テ畜産業ノ發達上ニ付テ遺憾ナカラシムルコトヲ所期スル
ノ結果、斯ノ如キ改正案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイ
マス、ドウゾ充分ニ御審議下サランコトヲ御願ヒ申シマス
○副委員長(三宅秀君) 唯今御説明ニ付テ御質疑ガゴザイ
マスナラ、ドウゾ此際御述べテ願ヒマス
○男爵平野長詳君 唯今御説明ニ付テ質問致シタコト思
フテ居リマスガ、是ハ逐條デアリマセスデモ宜シウゴザイマ
スカ
○副委員長(三宅秀君) 宜シウゴザイマス
○男爵平野長詳君 伺ヒタイノハ第二條ノ今回ノ此規定ニ
置カレマシタ警察官吏又家畜防疫委員ト云フコトデゴザイ
マスガ、此範圍ヲ御擴張ニナツタコト云フコトノ趣旨ハ能ク分
リマシタガ、成程警察官吏ト云フノハ國民一般ニ直グ所在
モ分リマスルコトデアリマス、此家畜防疫委員ト云フ
モノニ付テ、之ヘ屈出デアルコト云フコトニナリマス、豫
此家畜防疫委員ノ所在ガ人民ニ一般ニ容易ク分リ宜イヤウ
ナコトニナツテ居リマセスト、此防疫委員ノ方ニ屈出ヅル
イマコトハ餘程困難ナコトニナリハセスカト思フノデゴザ
イマスガ、是ハ警察官吏ト同様ニ廣ク知ラシメル何等カ御
處置ガアリマスノデアリマス、其邊ヲチヨット伺ヒタイ
○政府委員(田中隆三君) 御答ヘ申上ゲマスガ、是ハ平時ハ
置イテゴザイマセス、病氣ノ起リマシタ、或ハ起リマスル虞
アリマスル場合ニ、地方長官ガ其地方地方デ任命イタシマ
シテ、無論ハモウ各町村部落ニマデ漏レナク分ルヤウニ、
又大分手廣ク要所ニ配置シマシテ、只今御尋ノ通り警
官吏ト共ニ總テ是等ノ職務ヲ執ルコトニナリマス、之ヲ知
ラシムルコトニ付テハ相當手續ヲ執テ居リマス
○副委員長(三宅秀君) 續イテ御質疑ガゴザイマセスケレ
バ、二三本席カラ御尋ヲ致シタイ、唯今御説明ニナリマシタ
一番終ヒノ所デ、官内省其他、國ノ管理ニ掛カルト云フノ

ハ、宮内省ハ御料局ニ何カアル様子デゴザイマセケレドモ、
其他、國ノ管理シテ居ルコト云フノハドウ云フ場所ヲ例ニ
致シマスカ
○政府委員(田中隆三君) 御答申シマスガ、農商務省自身
ニモ實ハ持ッテ居リマス譯デアリマス、ソレカラ宮内省デモ
例ヘバ只今御備ヘニナツテ居リマス場所ニ依ツテ、十分ニ
是等ヲ手續ヲ、例ヘバ宮城內ニ御置キニナルトカ何トカ云
フモノニ付テハ手續ヲシテ居ルケレドモ、或ル例ヘバ牧場
トカ其他或ル場所ニ置イタモノニ付テハソレダケノ手續、
準備ハシテナイカラ、矢張國ノ方デヤッテ貫ヒタイト云フ
ヤウナ御希望モアルヤウデゴザイマス、サウ云フコトノ爲
ニ此法ヲ置キマシク譯デアリマス
○副委員長(三宅秀君) 續イテ御尋ヲ致シタウゴザイマス
ガ、此法ノ實施ニナリマス期限ハイツニナリマス、勅令ヲ
以テ之ヲ定ムデアリマスガ、十一年度ニ之ヲ御實行ニナル
積リデゴザイマス、若シサウデアリマスレバ、此防疫事務
ガ擴張サレル譯ニナリマス、從ッテ國費モ當シデ來ル譯
ニナリマス、サウスレバ現行法ヨリ幾分カ特別ノ豫算デモ
御要求ニナルト云フヤウナ譯デアリ、今出テ居リマス豫算ト
ノ關係ナドハドンナモノデアリマス、ソレヲ伺ヒタイ
○政府委員(田中隆三君) 御答ヘ申上ゲマスガ御尋ノ通り
デゴザイマシテ、是ハ十一年度カラ成ルベク早ク實施致シ
タイト云フ、幸ニ御協賛ヲ得マセシ、四月カラモ實施イタ
シタイト云フ考ヲ持チマシテ、其實行ニ關スル相當豫算ヲ既
ニ提出イタシテ居リマス、本豫算ノ方ニ編入シテアリマス
サウデアリマス
○三田義正君 私モ此三十條ニ對シテ伺ヒマスガ、軍用ノ
家畜ニシテ軍衛ニ於テ檢疫ヲ行フモノニ之ヲ適用セズト云
ヒマスノハ、是ハ師團、旅團、或ハ軍馬育成場ト云フヤウナ
モノヲ指スノデゴザイマス、ドウ云フ意味デスカ
○政府委員(田中隆三君) 御答ヘ申上ゲマスガ只今ノ御尋
ハ三十條ノ第二項ノコトデスカ
○三田義正君 左様デゴザイマス
○政府委員(田中隆三君) 是ハ陸軍ニ於テ特ニ檢疫ヲ行フ
コトガアルサウデゴザイマス、例ヘバ西比利亞ノ方カラ軍
隊ガ引上ゲテ參リマス、朝鮮ノ方カラ參リマス、ソレカラ
場合ニ於テ、特ニ此等ノ馬匹ニ付キ、陸軍ノ取扱手續ニ依
テ、十分ニ檢疫方法ヲ實施スルヤウナ場合ガアル、サウ云フ
ヤウナ場合ハ又船ガ別ニ檢疫スル必要ガナイ譯デアリマ
ス、サウ云フコトノ重複ヤナンカラ避ケル爲ニ特ニ此規定
ヲ置キマシタ
○男爵米津政賢君 先程ノ御説明ノ中ニ管理人ト云フ名前
ヲ今回ハ省キマシテ、保管者ト云フモノヲ入レルコトニシ

タイト云フ御話デゴザイマスガ、管理人ト云フ名前ハ畜産
社會ニ於テハ牧場ノヤウナ所デハ一切管理人ト云フヤウ
ナ名前ガ用ヒラレテ居ルノデアリマスルシ、保管者トナ
レバソレヨリ低イ所マデ及バヤウナ御話デアリマシテ、或
ハサウデアアルカモ知レマセウケレドモ、實際牧場ノヤウナ
所ニ於テハ、管理人ト云フモノハ所有者ノ總テノ責任ヲ代
理シテヤッテ居ルノデアリマスカラシテ、應々省ク必要モナ
イカニ考ヘラレマス、一體管理人ト云フモノハ法律
上ニ於テハドモ云フ區別ニ因ッテ用ヒラレテ居ルカ知レ
マセウケレドモ、實際牧場ナゾニ於キマシテ管理人ト云フモ
ノガ畜産社會ニ於キマシテ、管理人ト云フモノハ法律上
ハ法律上デ區別シタヤウナ意味デ實際ニ用ヒラレテ居リ
マスガ、總テ斯ウ云フ言葉ハ其習慣ヤラ色ノ關係カラシテ
法律上ノ異ッテ意味デ慣用サレテ居ルト云フヤウナコトガ
能クアルノデアリマスガ、管理人ト云フモノヲ省ク必要モ
ナイカニ考ヘラレマスシ、管理人ト云フモノヲ省ク必要モ
法律上又ハ實際畜産社會ニ於テ慣用サレテ居ル、ドウ云
フ區別ニナルカ御尋シタイト思ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 私ノ説明ノ仕方ガ少し不完全デ
アツタ爲ニ御疑ヲ招イタヤウナコトデゴザイマスガ、管理人
モ無論其保管者ノ一人デアルト云フ譯デアリマス、管理人
ヲ省クト云フ意味デハアリマセウ、併ナガラ管理人ト云フ
ノハ今チヨット御尋モアリマシタ通り、大體所有者カラ所有
者ニ代ッテ、其人ト似寄ッテ權限ヲ以テ牧場ナラ牧場デアリ
マス、其牧場ニヨリマア遠ク譯ニナル、假リニ其人ガ何
處カヘ旅行シテ居ル間デゴザイマス、其管理人ガ居ラ
スガ爲ニ居書ガ出来ナイト云フヤウナコトモ、極々窮乏ニ
スレバナルノデ、保管者ト云フモット輕イ意味ニナリマス
ト、其人ノ居ラス間ニモ代ッテソレヲ保管シテ居ッタ人デモ
誰デモ敏速ニ届出ラスルコトガ出来ルヤウナ譯ニナル、極
々輕クシテ廣クスルト意味デゴザイマシテ、管理人ノ權限
ニハ毫末モ取捨ヲ加ヘル意味デハゴザイセマス

○男爵平野長祥君 此法文中ニ船舶或ハ船長ト云フヤウノ
モノガ各條ニ澤山アリマスガ、是ハ無論内地ノ船舶ト云フ
コトニ限ラレテ居ルノデアリセウカ、或ハソレニ因リマシ
テハ外國船舶ニ迄是ガ適用サレルノデアリマセウカ、ソレ
ヲ一ツ伺ヒ度イ

○政府委員(田中隆三君) ソレハ兩方共ニ無論及ビマス積
デゴザイマス、サウシテ此等ノ人ノマア爲スベキ主タル任
務ハ詰リ日本ノ港ニ到着致シマシタ時ニ、有ラユル届出等
ノ手續ヲ省クノガ大事ナコトニナルノデ、總テ這入ッテ來タ
モノハ同ジコトニナラナケレバナラス

○男爵平野長祥君 サウ致シマスルト二十一條ノ船舶ニ臨

檢シテ航海日誌其他ノ書類ヲ檢閱スルト云フコトニナレバ
是ハ隨分外國ノ船舶ニ對シテハ、其他ノ種類ト云フコトニ
付テハ餘程困難デナイカト思ハレマスガ、此等ノ所ハ十分
ニ之ヲ以テ外國船舶ニモ其規定ヲ及ボシテ十分取締ガ出来
ルト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(田中隆三君) 中上デマスガ、是ハ實ニ万
一ノ場合ヲ憂フル所カラ出タ、始終必ズ見ルノデナイノデ唯
ハシイ徵候ノアツタ場合ニ、ソコ迄モ行キ得ル途ヲ開イタ譯
ナデゴザイマシテ、假令度ニサウスル譯デモ何デモナイ
ノデゴザイマスガ、假令外國船舶ニ強イテ此個條アル所
ニ何カ紛更ヲ來スヤウナコトハ方々ナイト斯ウ云フ見込
アリマス

○副委員長三宅秀君 本席カラ御尋シタイト思ヒマスガ、
今度新タニ加ハリマシタ病症ガ五種類アルサウデゴザイ
マスガ、此五種類ノ病氣ハ是迄ノ病氣ヨリ更ニ診斷モ難カシ
イ病氣ガ加ハッテ居リマセウカ、ドウデアリマセウカ、何故
ニ此問題ヲ出スカト云フモノ、詰リ難カシイ病氣ヲ發見シ
得ルヤウナ點醫ト云フモノ、全國ニ普及シテ居ラス時分
ニ、斯ウ云フ難カシイ法律ヲ出シテモ、徒法ハナリハシナイ
カト思フ、此法律ヲ例ヘバ實行ヲサレヤウト云フモノハ、一
目見テ直ガ判斷ガ出来ルト云フ時デナケレバ、法律ヲ出ス
ニ少シ早クナイカト思ヒマスガ、ソナニ難カシイ病氣
デハ決シテナイ、大抵ノ點醫ガ見レバ直グ分ルモノノダト云
フ御答ガ出マスカ、チヨットソレヲ……

○政府委員(田中隆三君) 御答申上デマスガ、如何ニモ御
尤ナ御心配デ、先以テ點醫ノコトニ付マシテモ、衆議院ニ於
テモ綿密ナル御調査ガゴザイマシテ、何レ後カラ御目ニカ
ケマスデゴザイマスガ、大分其點醫ノ數ガ近年ニ至ッテ各學
校ノ擴張増設等ト共ニ増加シテ參リマシテ、家畜ノ病氣ノ
豫防、療養等ノコトニ付マシテ段々完全ニナリツ、アリマ
ス、マア家畜ノ殖エテ參リマス退步ノ程度ヨリ點醫ノ殖エ
テ參リマスコトヲ比較スレバ、決シテ遺憾ガアルヤウノコ
トハゴザイマセウ、誠ニ能ク順調ニ双方共ニ進ンデ參ッテ居
ルノデゴザイマス、ソレカラ又此度加ヘマシタ病氣モ、病氣
トシテ特別疑ガハシイト云フヤウナコトハカイノデゴザイ
マス、極メテ分リ易イ病氣唯之ヲ加ヘマスニ至ッタノハサウ
云フ病氣ガ一面ニ於テ相當ノ勢ヲ以テ傳播スルコト、サウ
シテ其病氣ニ罹ル點醫ハ、國ノ産業上極メテ重要ナ位置ヲ
占メテ居ル者類デアアル、斯ウ云フヤウノ譯デアリマシテ、加
ハリマシタ譯デゴザイマス

○副委員長(三宅秀君) 尙ホ政府委員ニ伺ヒマスガ、豫防
注射、七條ニアリマス豫防注射ナドハ無償デナサレタノデ
アリマスガ、或ハ血清清豫防藥ナドト云フモノハ、賣下價格ガ

決マッテ居ッテ、サウシテ必ズ其拂下ヲ受ケテ豫防注射ヲス
ルト云フノデアリマスガ、實ハ人間ノ方デハ昨年不時ニ此
注射藥品ガ急ニ値上ニナリマシテ、大層社會政策ト背馳シ
タコトデ、社會政策ヲ完全ナラシムルニハ、ドモマデモ豫防
注射藥ナドハ値下ヲナサラナケレバナラスグラウト思ウテ
居リマスノ、之ニ反對デ人間ノ方ニ用ヒマス血清ヤ、豫防
藥ノ方ガ大層値上ニナリマシタノデアリマス、デ獸畜傳染
病豫防ヲナサラウト云フニハ、其位ノ事ハ無償ニナサルカ、
或ハ此藥品ヲ廉ク御拂下ヲ願ッテ置キタイト思ヒマスノデ、
只今ノ御尋ヲ致シマシタ

○政府委員(田中隆三君) 只今ノ御尋ノ事ニ付テハ、取扱
ニ關係シテ居リマス技師カラ御答申上デマス

○說明員(山脇圭吉君) 私カラ御答イタシマス、現在デハ
豫防ニ使ヒマス所ノ豫防液ナリ血清ト云フモノハ、無償デ
以テ配付シテ居リマス、併シ大正十一年度カラハ地方廳デ
以テ防疫ノ爲ニ使ヒマス豫防液ナリ、血清ナリニ付マシテ
ハ、約三分ノ一位ノ補助金ヲ與ヘテ、サウシテ購入サセタ
イ、斯ウ思ッテ居リマス、尤モ猛烈ノ牛疫ト云フヤウ病氣
ニ付マシテハ、コイツハ從前通り矢張政府カラ配付スルガ宜
イト思ヒマス、從來ノ通りニ全部無償デ配付スルト云フコ
トニ致シマシテモ、此豫防液ノ中ハ長ラク保存ガ出来ナイ
モノガゴザイマスノデソレガ爲ニサア今澤山病氣ガ流行ッ
タカラシテ至急ニ農商務デ「ワクチン」ヲ澤山造ッタルト
云フコトモ、是ハ仕事ノ上カラ出来ヌコトデアリマスシ、長
ラクノ間保存モ出来マセウデゴザイマスガ、成ルベク斯
ウ云フ「ワクチン」ナリ或ハ血清ヲ多數製造スルコトヲ獎勵
スル爲ニ特ニ補助金ヲ與ヘマシテ、購入ナリ、製造ニ便利ヲ
與ヘテ往キタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタウゴザイ
マス

○男爵米津政賢君 茲ニ法案ニ學ガラレマシタ家畜ト、此
法案ニ學ガラレタ病氣ニ對シテハ、唯今免疫血清トカ豫防
液トカ云フモノハ、完全ニ有效ナ程度ニ效果ガアルノデア
リマスガ、家畜傳染病トスレバ、治療法モ豫防法モ分ラヌト
シテモ、撲殺スルトカ隔離スルトカ云フコトハ、其外ノ健康
ナ家畜ニ傳染シナイ爲ニ執ルベキ手段トシテ至當ナ譯デア
ルヤウニ思ヒマス、全體カラ言ヘバ免疫血清トカ、豫防液ト
云フモノハ、完全デナケレバナラスグラウト思ヒマスガ、今
日ノ學問ノ程度デ是等ノ病氣ニ對シテ、免疫血清トカ、豫防
液ト云フモノガ、皆完備シテ而モ有效ナモノデアリスカ、ド
ウデアリマスガ、御尋イタシマス

○政府委員(田中隆三君) 只今ノ點モドウゾ一ツ山脇技師
ヨリ御答申上タルコトヲ御許ヲ得タウゴザイマス

○說明員(山脇圭吉君) デ、私カラ申上デマス、現今デモサ

ウデゴザイイマスガ、今後トモ免疫血清ナリ、又「ワクチン」豫防疫、斯ウ云フモノハ、主トシテ健康ナル動物ニ用ヒヤウト云フヲ持テ居リマス、猛烈ナ傳染病ニナリマス、成ホト血清ヲ注ギマス、多少ノ效アリマス、ケレドモ治療ノ效力ヲ奏スルマデニ病毒ガ浸潤スルト云フ憂ガアリマス、サウ云フ場合ニハ殺ス、成ルベク病氣ニ罹ラセ居ルモノヲ將來ニラヌヤウニシヤウト云フ目的デ、豫防トシテ血清ヲ注グノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵永山武敏君 第二十四條ニ手當金交付ノコトガ規定サレテ居リマスガ、手當金ノ増額スルニハ、地方長官ガ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ評價額ヲ評價サセルト、斯ウ云フコトニナテ居リマスガ、此評價ノ價額ガ持主ノ欲スル所ノ價額ト一致セスト云フ場合ニ於テハ、ドウ云フ風ノコトニナルノデアリマスガ、評價ノ價額ガ、非常ニ持主ガ豫想シテ居ルヨリハ廉イ、ドウモ持主ニ於テハ不當デアルト、斯ウ云フ風ニ持主ガ認メタ場合ニ於テハ、是ハドウ云フ風ニ致シマス

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、ソレハ丁度二十四條ノ末頃ニゴザイイマスノデゴザイイマスガ、地方長官ガ三人位以上ノ評價人ヲ選定シテ評價額ヲ定メシムル、サウシテ價額ガ不當ナリト認ムレバ、更ニ他ノ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ定メシムル云フコトノ途ヲ開イテ地方長官ガ決定スルコトニナテ居ルノデアリマス、今日マデソレガ爲ニ評定等ガ不當ナリトシテ争ガ起リマシタリ、農商務省マデ訴願ガ出テ参リマシタ云フヤウナコトハゴザイイマスノデゴザイイマス、大體能ク問題ガ決定シテ居ルヤウデアリマス、唯其前ニゴザイイマスヤウニ、病氣ニ罹ラセテ命令ニ依テ殺サナケレバナラヌト云フモノハ、不運ト諦メテ評價額ノ三分ノ一シカヤラス、其他ハ豫防等ノ爲ニ無理ニ殺シタト云フヤウナモノハ、五分ノ四マデト云フコトニナテ居ルノデアリマス、下テラニ致シマシテモ、全部ノ價額ハ實ヘスノデアリマス、其點ハ誠ニ氣ノ毒ノ事情ニアル譯デゴザイイマスガ、鑑定人等モ實ハソコノ事情ヲ能ク參酌シテ、實際ニ適合スルヤウニ、不服ヲ起サヌヤウニ、上手ニ評價シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、大抵皆當業者ノ中カラ信用ノアル者ヲ評價人ニ定メマス

○男爵平野長祥君 此第四條ニ狂犬病ニ罹リタルモノハ悉ク之ヲ直チニ殺スト云フ御規定ニナテ居リマスガ、是ハ專門ノナンデアリマセヌカラ分リマセヌノデ御尋ヲスルノデアリマスガ、茲ニ掲ゲラレテアリマス所ノ家畜ノ種類ノ中デモ、持ニ牛馬ノ如キハナカ／＼高價ナル貴キモノガアラウト思ヒマスデ、之ヲ狂犬病ニ罹リ、或ハ罹ツタル處ノアル時ニ、直チニ殺スト云フヤウナコトハ、随分惜シイヤウニ

思ハレルノデアリマス、例ヘバ人間ニ對シテ狂犬病デアリマスルト、隨分近頃ハ注射ノ方法ニ依テ全治スルト云フヤウナコトモ聞キ傳ヘテ居リマスガ、何カ斯ノ如キ同様に方法ヲ以テ牛馬ノ如キ高價ナル家畜ニ對シテハ特ニ直チニ之ヲ殺スト云フヤウナコトヲセズシテ、之ヲ救フノ途ガナイモノデアリマセウカ、其點ヲ分リマセヌカラ、伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、頗ル専門ニ亘ルコトデゴザイイマシテ、私共ニモ能ク了解イタシ兼ネテ居リマスケレドモ、要スルニ直チニ殺サセルト云フコトニ致シタ理由ハ此狂犬病ト云フモノハドウモ一旦發生スルト云フト、其被害ハ實ニ恐ルベキモノデアアル、ドウシテモ是ハモウ思ヒ切ッテ殺スト云フコトヲ以テ最上ノ手段ナリト致シタノデアリマス、此裏面ニハ勿論例外モアルコトデゴザイイマスケレドモ、外ノ畜産ヨリハ犬ニ付テ多少重キヲ置カナカッタ點モ或ハアルマイカト私ハ考ヘルノデアリマス、大體病氣ノ恐ルベキ種類ト云フコト、多クノ場合ニ於テノ犬ト云フモノハ産業上ノ畜類トシテカウ重キヲ置ク必要ノナイ譯デアリ、旁ノ病毒等ノ傳播ヲ恐レテ、此最後ノ手段ニ出ヅル、斯ウ云フコトニナツタコト御承知ヲ願ヒマス

○男爵平野長祥君 御答申上ゲマスガ、少シ只今ノ御答トハ違ッテ居リマシテ、犬其モノデハナイノデアリマス、例ヘバ、狂犬ニ咬マレタ所ノ牛馬ノ如キモノハ狂犬病ニ罹リマス、直グニ牛馬ヲ殺スヤウニ此規定ヲ見マスコトニナテ居リマス、然ルニ人類ニナリマシテハ、狂犬ニ咬マレテ狂犬病ニ傳染シマシテモ人命ノ尊キト云フ行ヲ慮ッテ、注射ノ方法等モ行届イテ、之ヲ助ケル方法モ出來テ居ル、然ルニ牛馬ノ如ク隨分高價ノモノガ罹リマシテ、此尊キ家畜ニ對シテ、何故ニサウ云フ方法ヲ行ヒ得ナイデカラニ、直グニ矢張之ヲ殺ストデアアルカ此御尋デアアルノデアリマス、

○政府委員(田中隆三君) 一寸私ハマダ御尋ノ趣旨ヲ了解シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、第四條ハ家畜ガ牛疫ニ罹リ若ハ之ニ感染シタル處アルトキ「斯ウ云フ場合トソレカラ」狂犬病ニ罹リタルトキ「ト斯ウニツニ分レテ居リマス」ノデアリマス、大體ハ家畜防疫員ノ指揮ニ從ッテ之ヲ殺ス、斯ウ云フコトニ致シマシテ、其但書ニ於テ牛疫ニ感染シタル處アル家畜ニシテ免疫血清ノ注射ヲ行フタ場合ニ於テハ必ズシモ之ヲ殺サスデモ宜シイ「斯ウ云フ除外例ヲ設ケマシテ、稍々之ヲ緩和シテ居ル譯デアリマス、併ナガラ此牛疫トカ、或ハ狂犬病トカ、此「ツ」病氣ニ付テハ外ノ病氣ヨリモ猛烈ノ勢ナリ、傳染ノ狀況ナリニ於テ驚クベキモノガアリマスガ故ニ、其取締ガ外ノモノヨリモ尙ホ嚴重ニナテ居ル、斯ウ云フ風ニ御解釋ヲ願ツタラバ、ソレデ宜シカラウ、斯

ウ思フノデアリマス尙ホ足ラザル所ハ技師カラシテ御答ヲ致サセマス

○男爵平野長祥君 此四條ノ只今ノ御尋ノ御説明デアリマスガ、狂犬病ニ罹リタルト云フモノハ矢張家畜ガ狂犬病ニ罹リタルモノト、斯ウ私ハ見テ居ルノデアリマスガ、ソレ故ニ其家畜ノ中デ、價其他ノモノニ付テモ貴キ牛馬ノ如キモノニ對シテモ此狂犬病ニ罹リタルモノ直グニ之ヲ殺ストデアアルカ、何故之ヲ救フノ途ヲ探ラヌノデアアルカ、此御尋ヲ致シタノデアリマス

○説明員(山脇圭吉君) 私カラ説明申上ゲマス、是ハ人畜共通ノ病氣デゴザイイマスガ、狂犬病ニ罹リマシタラバ、今迄ノ歴史上カラ考ヘテ見マシテモ、癡ッタト云フ例ハ殆ド聞カナイノデアリマス、尤モ人間ノ方デモ狂犬ニ咬マレタナラバ、直グニ其豫防疫ノ注射ヲスルト云フコトハ是ハ家畜ノ方デモ矢張狂犬ニ咬マレタト云フ場合ニハ、之ニ向ッテ豫防疫ノ注射ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、一過ニ狂犬病デアルト云フ症狀ガ現ハレマシタナラバ、ソレハモウ豫防疫ヲ注ギマシテモ、手遅レマシテ、決シテ癡ラヌノデアリマス、故ニ一旦罹ツタモノハ可愛イサウデアリ、損失デアッデモ、已ムヲ得ズ之ヲ殺シテ他ニ傳播スルノヲ防グ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵平野長祥君 稍々、分リマシタガ、サウ致シマスルト、人類ニ對シテモ同様デアッテ、犬ニ咬マレタト云フ時ニハマダ狂犬病ニ罹ッテ居ラヌノデアリマスシテ、其際ニハ人類モ注射ノ方法ニ依ッテ之ヲ全治スルコトガ出來ル、併シ其狂犬病タルコトノ症狀ガ現ハレタ場合ニハ矢張人類デモイケント云フコトニナリマス

○説明員(山脇圭吉君) 左様デアリマス、ソレハモウ殆ド死ノ運命ニナテ居リマス

○副委員長(三宅秀君) 一寸政府委員ニ伺ヒマスガ、馬籍ハ昨年法律ニナリマシテ、アレガ實施ニナツタカ、ドウカ、ツイ調ベテ來セマスデシタガ、牛籍ノコトハ、私ハ常ニ多年農商務省ニ向ッテ牛馬籍ト云フモノヲ御設ケナサツタラ、宜カラウト云フトノ考ヲ持ッテ居リマスノデ何ノ爲ニカト云フト馬籍ノ如キ血統調ベヲスルヨリハ此傳染病豫防法ガ實行セラレル場合ニハ無籍デ居ツタラ、實ニドウモ仕方ガナカラウ、ソナラ外ノ牛馬籍マデモ籍ヲ設ケルカト云フト、是ハ最モ莫大ナ頭數ニナリマスカラ、出來マスマイケレドモ、牛ノ籍ハ此法律ニ絡ンデ最モ必要ダラウト思ヒマスガ、近キ將來ニ馬籍同様牛籍ヲ御設ケニナル御積デアリマスガ、政府ノ御考ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、當局ト致シマシテハ、度々調査ハ致シテ居ルサウデゴザイイマスケレドモ、

要スル中、手數費用等方掛カルコトガ多イコトデゴザイ
マスカラ、早速實行ヲ見ルコトガ出來ズニ今日アル譯デア
リマス、農商務當局ト致シマシテハ無論御尋ト同感ヲ以テ
熱望イタシテ居リマス譯デゴザイマス

○副委員長(三宅秀君) 尙ホ御質疑ガゴザイマスカ……然
ラバ文字上ノ御尋ヲ致シマスカ、第一條ノ二項ニゴザ
イマス「畜類傳染病豫防上必要アルトキハ勅令ヲ以テ前項
ノ家畜又ハ傳染病以外ノ畜類又ハ傳染性病ニ付本法ノ全部
又ハ一部ヲ適用スル」ト云フノガアリマス、此中私ノ分リ兼
ネテ居リマス部分ハ「傳染病以外ノ畜類」ト云フ意味ガ分リ
兼ネルノデゴザイマスカ……

○政府委員(田中隆三君) チョット御斷リヲ致シマス、是ハ
傳染病ト云フ所デチョット息ヲ切ッテ、以外ノ畜類又ハ傳染
性病ト云フ方マデ引掛ケテ書キマシタ爲ニ文章ハ好イカ惡
イカ分リマセヌガ、サウ御讀ミ下サイマシレバ御疑念ガナ
クナルノデナカラウカト思ヒマス、所謂前ノ家畜又ハ傳染
病ト云フモノノ對シテ畜類又ハ傳染性病ト二ツニシテ分ケ
テ來テ居ルノデアリマス、ソコノ意味ガ……傳染病以外ノ
傳染性、斯ウ云フコト……大變文字ガ儉約シテアリマ
ス爲ニ……

○副委員長(三宅秀君) 皆サンニハソレデ御分リニナリマ
スカ分リマセヌガ、私ニハドウシテモ分リマセヌ、ドナカ
マダ御質疑ガゴザイマスカ

○男爵平野長祥君 是ハ最初ノ御説明ノ中ニモアリマシタ
ノデ略々分ッテ居ルノデゴザイマスカ、第一條ノ此家畜ト云
フ種類ニ鶏及鶩ト云フ風ニ鶩マデ舉ガレテ居リマス、ト
拘ラズ、此衆議院ニ於テハ或ハ兎トカ猫トカ多ク出タ
云フ御話デアリマスガ、此鳥ノ方デハ隨分七面鳥ノ如キモ
ノガ近頃同様にナカ(飼養スルヤウニ思フノデゴザイ
マス、何故ニ鶩位マデ入レテ七面鳥ヲ除カレタカト云フコ
トハ、ドウモチヨット分リ難イノデアリマスガ、是ハ左程飼
養シテ居ラヌト云フ點カラ御拔カシニナリマシタデノアリ
マスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(田中隆三君) 御答申上デマシタガ、ソレハ先
程略々申上ゲテ置キマシタガ、病氣ノ流行ル實況ニ依リマ
シテ、病氣ノ種類ト家畜ヲ加ヘマシタノデアリマス、鶏、鶩
ト云フヤウナモノハ今度新タニ加ヘマシタ家畜虎列刺ト云
フ傳染病ニ罹リ易イノデ、又其病氣ガ實際驚クベキ損害ヲ
起シツ、アル譯デゴザイマス、ソレデ加ハタサウデゴザイ
マス

○副委員長(三宅秀君) ソレデハ一ツ専門的ノ御尋ヲ私カ
ラ致シマスガ、先刻病名ヲ彼是改メタノデ別ニ新タナ病氣
ガ加ハタノデナイト云フコトデアリマシタガ、此豚疫ト云

フノハ確カ今度加ハリマシタノデアリマスナ、豚疫ハ今度
加ハリマシタモノ、ヤウデスガ、其病症ハドンナモノデア
リマセウカ、素人目デハ「インデルベスト」ト同ジヤウナモ
ノト想像イタシマスカ、ドッチモ共通カモ知レマセヌケレド
モ「インデルベスト」トハ違ッタモノデアリマスルカ、ドンナ
モノデアリマスガ、是ハ全ク専門ノ御尋デアリマス

○説明員(山脇圭吉君) 從來ハ豚疫モ豚虎列刺モ同ジク豚
虎列刺デアルト云フ風ニ思ッテ居ッタノデゴザイマスカレド
モ最近學界ノ進歩デアリマセウカ豚虎列刺ト云フモノト、
豚疫ト云フモノトハ全ク別物デアルト云フコトニナッテ參
リマシタノデアリマス、實際其症候カラ申上ゲマシテモ、一
ツハ豚虎列刺ノ方ハ多ク腸ノ方ニナリマス、豚疫ノ方ハ主
トシテ肺ノ方ニナリマス、自カラ病症ガ異ッテ居リマス「イ
ンデルベスト」トハ全ク別物デアリマス

○副委員長(三宅秀君) 素人ハ牛疫ト書イテモ、豚疫ト書
イテモ「インデルベスト」ト同ジヤウニ共通ドラウト思ヒマ
スカ、多少違フノデスカ

○男爵平野長祥君 只今三宅君ノ御尋ニ關聯シマスカ、舊
法ニ家羅斯疫ト云フノガアリマシテ、今回ハナイノデアリ
マス、能ク分リマセヌガ、今度ソレガ豚丹毒ト云フノガ道入
ッテ居リマシテ、之ガ拔ケテ居リマスカ、何カソコニ意味ガ
アルノデスカ

○政府委員(田中隆三君) ソレモ只今チヨット山脇技師ヨ
リ御答申上ゲタト同ジデアリマシテ、チヨット名前ガ變ッ
タノデアリマス、實質ハ同ジデアリマス、家羅斯疫ト云フノガ
豚丹毒ニ變リマシタノデアリマス

○副委員長(三宅秀君) 尙ホ御質疑ガゴザイマスカ續イ
テ願ヒタイ、若シ只今御質疑ガゴザイマセヌモノト致シマ
スレバ、尙ホ質疑ヲ續ケルモノト致シテ、本日ハ之デ仕舞フ
カト思ヒマス、先刻私ガ種々ノコトニ付テ御尋致シテソレ
ニ付テ參考書類ヲ廻ハシテ下サルサウデスカラ、尙ホ此上
ニモ參考書類デモ御請求アリマスルナラバ、參考書類ノ届
イタ上デ再ビ質問會ナリ、次回ノ會議ヲ開クト云フコトニ
致シテ、今日ハ之デ仕舞フカト思ヒマス、御異議ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○副委員長三宅秀君 ソレデハ之デ止メマス
午後二時二十九分散會
出席者左ノ如シ

政府委員
説明員

男爵永山	武敏君
男爵岩倉	道俱君
三田	義正君
農商務次官 田中	三君
農商務技師 山脇	圭吉君

副委員長 三宅 秀君
委員 子爵米津 政賢君
男爵平野 長祥君

大正十一年二月十七日印刷

大正十一年二月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局